

【会議録】

会議名	第3回港区子育てひろば（あっぴい白金台）事業等運營業務委託事業候補者 選考委員会
開催日時	令和4年11月7日（月曜）午後3時00分から午後5時10分まで
開催場所	高輪地区総合支所4階会議室A B
委員	出席者 6名 岡田委員長、請川委員、秋山委員、山本委員、白井委員、安達委員 欠席者 0名
事務局	高輪地区総合支所管理課長、管理課施設運営担当係長、管理課管理係担当者
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （1）A事業者（35分間） （2）B事業者（35分間） 4 議題審議 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他
配付資料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点表（2事業者分） 資料3 第二次審査結果・総合結果表（※採点終了後、机上配布） 資料4 第2回選考委員会議事録(案) 参考資料 第一次審査集計結果
会議の内容	
事務局 委員長	【1 開会】 （委員長より開会の挨拶） 【2 第二次審査実施概要について】 （資料1から3について説明） ただいまの説明について、意見・質問はありますか。また、資料4について、指摘等ありますか。 （委員一同、異議なし）
A事業者	【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 （1）A事業者 プレゼンテーション （質疑）
A委員	白金台という地域の特性を活かして、保育や学童保育を行うに当たりどのような考えがありますか。
A事業者	保育については、フリーランス等、多様な働き方をされている方が多いように感じます。また、様々な国籍の方の利用も多く、ポケットーク等を使用し、

	<p>スムーズなコミュニケーションを図ることを心掛けます。</p> <p>学童クラブについては、勉強や習い事に熱心なお子さんが多いと感じています。特に白金台の地域は、受験を意識している子どもも多いと感じているため、学童クラブで発散できるように、子どもたちのやりたいこと、好きなことを実現できるように取り組みます。</p>
A 委員	<p>気になるご家庭や特性のある子ども、発達に何らかの課題がある子どもへの対応について、意識している点を教えてください。</p>
A 事業者	<p>保育については、特性のある子どもに関しては、保護者も悩んでいることが多いように感じています。特にひろば事業では、利用者から相談や質問をいただくことがあります。家庭での様子や、子どもの様子を観察しながら、関連機関の紹介もできると提案し、保護者の不安を取り除けるようにコミュニケーションをとります。</p> <p>学童クラブについては、言葉がすぐに出ない、先に手が出てしまう等の、コミュニケーションに少し難しさを感じる子どもがいますが、感じていること、思っていることは他の子どもと変わらないと考えているので、職員1人1人がその子どもとしっかり関わり合い、関係性を作ることで、コミュニケーションがとれるようになって考えています。</p>
B 委員	<p>職員間の連携について、月1回の会議では、どのようなことを話し合い、どういった情報を共有していくのでしょうか。</p>
A 事業者	<p>複合施設内での簡単な出来事について、情報共有をします。また、季節の行事などを館内合同で行うといった共有もします。</p>
B 委員	<p>施設の特性を踏まえた連携事業について、計画しているものをお話してください。</p>
A 事業者	<p>ハロウィンイベントのような季節行事は、子どもたちの感性に関わることで、複合施設内合同で行えるように、保育施設に学童クラブの子どもが遊びに行くことを考えております。</p>
B 委員	<p>安全に関する情報の共有もされますか。</p>
A 事業者	<p>学童クラブ・保育施設共にエレベーターを使用しているため、エレベーターの中での約束事に関して共有し、事故を未然に防ぐようにします。</p>
B 委員	<p>職員の定着のために、どのような取組を行っていますか。</p>
A 事業者	<p>年に2回、必ず面談を行っています。その際に、日頃の思っていること等を聞き、一緒に解決していくことで、定着に結びつけるようにしています。責任者については、本部が面談を行い、現場の職員は施設長が面談を行います。その際に、何を頑張っているか、何が足りないか、それをどのように努力して身につけていくか、という話もします。</p>
C 委員	<p>事業内容において乳幼児への配慮や、保護者への配慮についてよく書かれていますが、職員1人1人がそれを実現するために、施設長として職員に対しどのように指導をしていますか。</p>
A 事業者	<p>保育については、マニュアルを策定していますので、職員全員に配り、年に1度読み返しをしています。日々気になる行動がありましたら、他の職員や子どもから離し、状況を確認しながら、適切ではなかったこと、よりよい対応について話し合い、指導しています。</p> <p>学童クラブでは、運営前の朝礼の時間を大切にしています。前日までの申</p>

C委員	<p>し送りも大切ですが、運営中の事故や怪我を想定した研修、ロールプレイを行ってスキルアップを図ります。細かいことであれば、その都度話をし、こうすればよかった、という点を併せて伝えます。</p>
A事業者	<p>運営提案書の共通事項の「2 一体的な連携事業」において、日々の交流やイベントを通じて顔の見える関係を作ること、有事の際に各施設の職員の力を発揮できる関係を作ると記述がありますが、これはあっぴいやみなと保育サポート・学童クラブだけでなく、建物全体という認識ですか。</p>
D委員	<p>ご認識のとおりです。学童クラブと保育施設の連携はもちろん重要ですが、子どもたちが他の施設の大人と顔見知りの関係性を作ることにより、有事の際に子どもたちも安心することができ、有事の際の備えになると考えています。</p>
A事業者	<p>職員をまとめていく上で、施設長として意識していることを教えてください。</p>
A事業者	<p>保育については、日々コミュニケーションを取るとともに、朝礼と昼礼において、疑問に思ったこと、子どもに対して不安に思っていることを話せるように、相談しやすい環境・関係性を築くことを心がけています。</p>
D委員	<p>学童クラブについては、子どもに対する接し方や、指導の仕方について、それぞれの先生により方向性がありますが、当施設での方向性を施設長から提示することで、迷いなく運営に入ることができると考えております。</p>
A事業者	<p>利用者対応について、特に難しい保護者に対してどのように対応することを心掛けますか。</p>
D委員	<p>保育では、話を十分にし、何を求めているのか明確にしていくことを心掛けています。相談室を使い、1対1ないしは2対1で話をします。子どもに関しての悩みが多いので、よく話を聞き、子どもにとって何が1番良いことなのかを考えます。また、場合によっては本社や関係機関に相談し、解決に努めております。</p>
A事業者	<p>学童クラブにおいても、子どものことで意見・要望するケースが多いため、まずはしっかりと話を聞き、何を求めているのか、学童クラブとしてできること・できないことのラインを提案することが大切であると考えています。</p>
D委員	<p>本社として、これらの施設をどのようにバックアップしていくべきか、意識していることを教えてください。</p>
A事業者	<p>就学前から就学後の、切れ目のない形で子育てをしていく中で、いつも同じ場所に、同じ顔触れでいることが安心感に繋がると考えていますので、互いに連携を取り、一体的に運営できるような機会を多く作っていくことが本社の役目であると考えています。</p>
E委員	<p>また、保育と学童クラブは繋がりのある事業のため、研修なども合同で行っております。特に支援児対応研修においては、乳幼児期から学童期にかけて、児童の特性や保護者の思いを、当社の臨床心理士による研修から学ぶ機会を設け、連携を図っております。</p>
A事業者	<p>あっぴい、みなと保育サポートについて、異年齢構成となる点や、毎日、日単位、時間単位で構成する子どもが変ることに対し、気を付けること、配慮していること等について、どのように考えていますか。</p>
A事業者	<p>みなと保育サポートに関しては、0歳児は別のサークル内で過ごすことに</p>

	<p>なりますが、1歳になり歩けるようになると、発達を促すために1つ上の子どもと一緒に過ごしたり、おもちゃを変えて過ごす機会を設けます。</p> <p>あっぱいに関しては、各家庭それぞれのやり方や要望があるため、保護者の話をよく聞き、家で好んでいるおもちゃや、過ごし方を伺い、その子の生活のリズムに合わせたお預かりができるように心掛けます。</p>
E 委員	<p>一体的な連携事業において、「切れ目のない子育て支援」とありましたが、施設ごとの、切れ目のない子育て支援をするための役割についてどのように考えていますか。</p>
A 事業者	<p>学童クラブとしての役割は、思いやりの心を持って乳幼児と接することがポイントであると考えています。1年生は学校では1番年下ですが、乳幼児、保育施設の子どもと関わりがあることで、子どもたち自身から出る優しい気持ち大切にできると考えております。学年が上がるにつれて、今度は新しい1年生に対して優しくし、そのようなループを作るのが学童の役割であると考えています。</p>
F 委員	<p>保育施設では、地域特性柄、幼稚園受験をされる方も多くいるので、幼稚園に入る時の不安を軽くできるようにお話をし、幼稚園だけではなく、保育園などの近隣の施設の紹介もします。また、小学校に向けての不安、学童に通う不安を軽減するため、学童クラブの見学会を実施し、小学校に対しての不安を取り除いていきたいと考えています</p>
F 委員	<p>社会福祉士を職員として雇用しているとありますが、どのような趣旨で採用しているのですか。</p>
A 事業者	<p>経験のある保育士による相談など子育て支援を行ってききましたが、多職種の知識を持ち寄ることで様々なニーズに応えたり繋げたりといった総合的な支援ができ、より地域の保護者の支援に繋がると考え実践しました。</p>
F 委員	<p>学童クラブでは、社会福祉士をどのように現場で活用したいと考えていますか。</p>
A 事業者	<p>学童クラブは保育施設の子どもより、できることが増えます。学校でもバリアフリー等の社会福祉関係の話をしていると聞いています。社会に対し学童クラブとしてできることはなんだろうと考えるきっかけを作っていけると考えています。</p>
F 委員	<p>みなと保育サポート運営において苦勞を感じる点は何でしょうか。</p>
A 事業者	<p>保護者の多様な働き方に合わせて、子どもを受け入れる時に、どのタイミングでご飯にするか、一緒に遊ぶか等の受け入れ方法を検討しなければいけない点です。コロナ禍で更にフリーランスの保護者が増えたと感じていますので、多様な働き方に今後も寄り添っていきます。</p>
B 事業者	<p>(2) B 事業者 プレゼンテーション (質疑)</p>
A 委員	<p>白金台の地域特性を踏まえ、施設運営にあたって気を付けていきたい点、力を入れていきたい点を教えてください。</p>
B 事業者	<p>学童について、今まで利用者に寄り添った運営を心がけてきました。それを持続し運営していきます。また、弊社は英語事業に力を入れているため、</p>

A 委員	<p>国際色豊かな白金台の環境の中で活かしたいと考えています。</p> <p>保育は、地域に寄り添った保育施設を目指します。地域の方たちとのイベント交流や、お祭りなどで交流を深めていきたいと考えています。</p> <p>発達に特性のあるお子さんや、そのご家庭との対応について、これまで意識してきた点を教えてください。</p>
B 事業者	<p>学童については、保護者から子どもの特性を聞き取り、それにあった対応をしてきました。また、学校とも連携を取り、学校でどのような対応をしているか情報交換し、最善の対策を施設で考え対応しました。</p> <p>保育園は、月に1度、園医が巡回で子どもの視診を行っているため、子どもの発達について相談し、保護者に伝える、また関係機関に繋げる役目を果たしています。</p>
B 委員	<p>安全面を含め、情報共有や連携をどのように行うのか具体的に聞かせてください。</p>
B 事業者	<p>学童クラブでは、毎日、部門ごとに1名ずつ集まり情報交換や意見交換を行います。また、月に1回、全体で集まりミーティングを実施します。欠席者が出た場合には、ミーティングノートの記録を確認してもらい情報交換を行います。</p> <p>保育においても、月に1度全職員が集まり、園内研修の実施等、保育の質の向上のために職員全員が同じ方向を向くための連携を取る予定です。また、部門ごとにもリーダーを配置していますので、リーダー会議等も行います。また、月に1度、学童と保育園の全職員が集まったミーティングを行い、共有事項を深めていきます。</p>
B 委員	<p>職員の定着について、どのような取組を行っていきますか。</p>
B 事業者	<p>エリアマネージャーが、施設に行った際には必ず全職員に声かけを行います。施設長とも密にコミュニケーションをとり、職員の心情を把握することを大事にしています。また、制度として、定期的な面談やフォローアップ面談を、入社歴や対象によりしっかり声を受け止める機会を設けています。</p> <p>学童クラブについては、仕事に意欲を持つことが大事で、意欲を持たせることで、仕事に生き甲斐を感じ続けてもらえると考えています。そのため、事業を行う時には、全員で相談してやりたいことを実現させる、そういった経験を通じてやりがいを持たせる取組を行っています。また、新入社員に先輩職員が1年間付く、ブラザー・シスター制度があり、新入社員のフォローも行っています。</p> <p>保育では、月に1度個人面談を行い、相談を聞き取れるような体制を組んでいます。また、研修により保育の質の向上を目指しています。</p>
C 委員	<p>児童の人権に配慮した事業運営等についての提案内容を職員1人1人が実現するために、施設長としては、普段からどのような形で研修や声掛け等を実施するつもりですか。</p>
B 事業者	<p>弊社が整備した様々なマニュアルがあり、まずは研修を通してそれを理解します。また、実務の中での事例を取り上げて、どのように対応したらいいのか、全職員で考えて同じ対応ができるようにと考えております。</p>
C 委員	<p>例えば、無意識に発してしまった言葉等を聞いた際には、どのように対応されますか。</p>

B事業者	子どもの言葉に対しては注意することの他に、弊社の取組として自分の言葉が相手にどのように伝わっているのかを、子どもたちを通じて研修を行っています。この中での気づきもあり、それがいい言葉なのか悪い言葉なのか判断してもらいたい、と考えています。
D委員	安全対策危機管理における、事故災害発生時の体制において、事態に応じて担当エリアマネージャーが施設長と共に対応すると記載がありますが、担当エリアマネージャーは、施設ごとに担当が決まっているのですか。
B事業者	お見込みのとおりです。
D委員	大きな災害により、同時に複数の施設が被災した場合にも対応できる方はいますか。
B事業者	エリアマネージャーは大体5施設を担当しており、そのエリアマネージャーも2人体制で各施設を担当しております。そのため、1人が対応できない場合も、もう1人が動ける体制を取っています。また、大きな災害の時は全社一丸となって対応するという弊社の方針があります。本社・支社合わせて、職員が総動員で対応する体制が整っております。
D委員	本社職員が各施設長に対してどのようなサポートをしなければいけないのか、ということについては研修等を受けているということですか。
B事業者	お見込みのとおりです。
D委員	保護者対応において、心掛けてきたことを教えてください。
B事業者	学童では、まず、相手の話を聞き、どういう思いか把握した上で答えるように心掛けておきます。理解していただけないケースでは、普段の丁寧な対応により、お子さんをしっかりと見ていますとアピールし、少しずつ分かっていたいただきます。
	保育でも保護者の方から様々なお声をいただいておりますが、それをクレームとして捉えるのではなく、意見として捉えることを、日頃から気を付けております。そして保護者からよく聞き取りを行い、事実確認を行いながら、受け止めます。また、日頃から保護者と十分なコミュニケーションをとって信頼関係を築き、いつでも子どもを安心して預けられる環境作りを行っていました。
D委員	一体的な運営にあたり、特に意識したい点を教えてください。
B事業者	統括責任者として、様々な意見交換をしながら、学童やあっぴいを把握して、常に連携を取り頑張っています。
	保育では、施設長同士の連携は勿論のこと、子どもとの連携も大事にしたいと考えています。学童のお兄さん・お姉さんが下に来て絵本の読み聞かせを行ったり、子どもたちが上に行って学童の遊びを体験したり、職員同士の交流も深めたいと考えているため、全体として交流を深めて連携していきたいと考えています。
D委員	提案の中で、経験者を異動によりに配置するとありますが、人材の確保が難しい中での、意欲や見解をお聞かせください。
B事業者	弊社教育事業部では46施設を運営していますが、全施設に自治体の規定より多く職員を配置しているため、必然的に46名が、今後の事業展開のための異動に備えた職員となっています。白金台に適した職員を、異動により配置します。地域に根差した運営のために、新規採用も考えています。

E 委員	ほとんどの職員について、経験者を異動により配置するとありますが、運営提案書には常勤6名、非常勤6名が新規採用と記載されており、新規採用の方が多くなっています。
B 事業者	異動でも対応できるというのが大前提ですが、可能であれば地域の方を新規採用したいという思いから、運営提案書では、新規採用について記載していますが、新規の応募が無くても異動で対応できるようになっています。
E 委員	提案書には新規採用の人数が経験者の人数を上回るように書いてありますが、常勤の内最低でも6名は異動によって経験者を配置するが、異動可能な経験者はそれ以上におり、経験者の人数は新規採用の状況により変動する、ということでしょうか。
B 事業者	お見込みのとおりです。
E 委員	あっぴい・みなと保育サポートは、日々来る子どもが異なりますが、それについて具体的な配慮を教えてください。
B 事業者	保護者や子どもが安心し、施設を安全な場所だと思っていただけるように、職員の笑顔や、穏やかな雰囲気と接することを心掛けます。また、保護者と職員が積極的にコミュニケーションを取ることで信頼関係を築き、次に活かせる施設運営を目指します。
E 委員	トラブルがあった際には、今後利用しないケースもあると思うのですが、その場合のリカバリーや、保護者の方への配慮についてどのように考えていますか。
B 事業者	園内で様々な交流やサークル活動を考えており、そこにお声がけをし、常に受け入れる体制を取ります。
F 委員	白金台の保護者について、どのように予測していますか。
B 事業者	<p>学童については、プレゼンテーションにあたり、地域の散策を行い、公園で遊んでいる子ども、保護者を拝見しました。地域に合った情報をこれから勉強しながら、保護者に理解していただけるような運営をしていきます。</p> <p>保育についても、白金台を散策し、公園の整備がすごく行き届いている印象を受けました。また、各所に外国籍向けのパンフレットが配置してあり、外国籍の方が多くいらっしゃるのだと感じました。弊社でも外国籍の英語教師を含めた人員を配置し、保護者が孤独にならない体制を作りながら運営をしていきます。</p>
F 委員	本社の方はどのように考えていますか。
B 事業者	国際色豊かな港区ですので、どなたでも安心して利用できる施設にしていく体制を整えます。
	(各委員採点) (事務局集計)
委員長 事務局	<p>【4 議題審議 第二次選考について】</p> <p>採点集計の結果について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局より採点の集計報告</p> <p>第二次審査の得点は、</p> <p>A事業者 813点/1110点満 第2位</p>

<p>委員長 A委員</p>	<p>B事業者 831点/1110点満 第1位 第一次審査・加点項目・第二次審査の総合得点 A事業者 2342点/3498点満 第2位 B事業者 2418点/3498点満 第1位 各委員から講評をお願いします。</p>
<p>B委員</p>	<p>A事業者の施設長候補者は若い印象を持ちましたが、子どもたちの様子がよく見えていると感じました。B事業者はとても熱意を感じました。またベテランで経験もあると思いました。</p> <p>A事業者を高く評価しました。A事業者は白金台という地域特性について、保護者や子どもの様子がよく分かっており、何が課題であり難しさがあるか、という点が見えています。一方、B事業者は、外国籍の方についての話はありましたが、白金台の特性、特に保護者についての考えが弱いと感じ、点数を下げました。また、他の委員が質問した一時預かりについて、毎日利用者が変わる状況でどのように関係性を作っていくか、という点が明確でなく、B事業者の点数を下げました。</p> <p>B事業者を若干高く評価しました。A事業者は、施設長候補者が今までの経験を基に話をされており、非常に具体的な回答ができている部分もありましたが、施設内の安全面の考え方や気を付けるべき点が少ないと感じました。また、職員定着の取組について、本部としての考え方に不足を感じました。職員への支援や教育は非常に重要であるため、本部支援の観点から減点しました。</p>
<p>C委員</p>	<p>B事業者ですが、地域特性を踏まえた提案について、提案書の中ではよく調べられていましたが、二次審査では、施設の現状理解という面ではA事業者に劣ると感じました。施設長候補者の回答の安定性については、B事業者の方が落ち着いており、しっかりと回答できていると感じました。また、ヒアリングについても熱意を持って準備していると感じ、意欲の面で評価しました。提案書では具体性について評価しましたが、プレゼンテーションとヒアリングについては、やや抽象的な回答が多かった印象ですが、総合的な評価ではB事業者の本部と施設長候補者の安定性を評価し、若干Bを高く評価しました。</p> <p>B事業者を若干高く評価しましたが、あまり差はありませんでした。A事業者の学童クラブ施設長候補者がしっかりしている点と、複合施設全体を含めての一体的な危機管理体制を意識している点、日々の運営の中で、運営前の申し送り等を活用して、職員育成を図っていく点を評価しました。</p> <p>B事業者は両施設長の熱意を、受け答えの中で非常に感じました。施設長候補者・エリアマネージャーの、地域を見て学んでいる姿勢を評価しました。安定感も感じられました。</p>
<p>D委員</p>	<p>B事業者を高く評価しました。A事業者は、施設長としての経験は多くない中、非常に落ち着いて施設の中を理解しており、安心感があります。</p> <p>B事業者は、施設長の2人が非常に経験豊富で、安心感を与えられる存在だと思います。また、プレゼンテーションも、一体的な運営を意識しており、提案書も含めてよく準備していると感じました。職員配置についても、他の施設からの異動によるものと明らかにしており、事前に地域を巡って調べる</p>

E 委員	<p>姿勢など、事業者全体として今回の業務委託に対する強い意欲を感じ、高く評価しました。</p> <p>A事業者を高く評価しました。地域の保護者をよく理解している点と、理由を問わない一時預かりとみなと保育サポートの形態を理解し、日々利用児が異なり、時間預かりのため子どもの出入りが多い事業を、工夫しながら対応しようとしている姿勢が見られました。</p> <p>一方でB事業者は、外国人が多い、公園が整備されているといった、客観的な視点はありましたが、地域で暮らしている子どもと家庭がどういうものなのか、という理解までは至っていないため、A事業者を高く評価しています。</p>
F 委員	<p>両事業者とも、総合評価としては安心して事業を任せられるという評価です。地域性について、A事業者はしっかりと把握されていましたが、施設長候補者に地域性を意識した提案をしてほしかったと感じました。</p> <p>最大の差が、施設長候補者の差となりました。B事業者の方は、そつなく受け答えをし、的確な対応をされていました。一方、A事業者について、あっぱいの施設長候補者は保育を捉えていると感じましたが、学童クラブの施設長候補者は、少し発言に自信の無さを感じ、保護者対応に不安を感じました。そのため、B事業者の方を高く評価しました。</p>
委員長	<p>各委員の講評は終わりましたが、何かご意見等がありますか。</p> <p>(特になし)</p>
委員長	<p>それでは、各委員の講評を踏まえ、本委員会として、B事業者を、港区子育てひろば(あっぱい白金台)事業等運営業務委託の事業候補者として選定してよろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>また、選考基準に基づき、B事業者が選考結果通知後、辞退等により指名が不可能となった場合、第2位のA事業者を繰り上げ運営事業候補者として指名してもよろしいでしょうか。何かご意見はありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
事務局 委員長	<p>【5 その他】 (事務局から今後の予定について説明) 何か意見等がありますか。 (特になし)</p> <p>【6 閉会】 (委員長より閉会の挨拶)</p>